

ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する情報公開

福島県立医科大学医学部腫瘍内科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記のヒトゲノム・遺伝子解析研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2019年11月 福島県立医科大学医学部腫瘍内科学講座 佐治重衡

【研究課題名】

ヒト白血球抗原と免疫関連有害事象の関連性に関する研究

【研究期間】2019年11月～2024年10月

【研究の意義・目的】

癌細胞を攻撃するT細胞のはたらきを癌細胞自身が抑えていることが分かってきました。免疫チェックポイント阻害薬（オプジーボ、キイトルーダ、ヤーポイ、テセントリク、イミフィンジ、パベンチオなど）は、抑えられたT細胞のはたらきを再活性化し癌細胞を攻撃することで腫瘍の増殖を抑えます。しかし再活性化したT細胞は患者さんの正常な細胞も攻撃し、それが免疫関連有害事象（irAE）と呼ばれる副作用として表れます。irAEはときどき重症化し死亡する場合があります。最近の研究でヒト白血球抗原（HLA）の遺伝子型がirAEの指標となる可能性があることが分かってきました。

この研究はirAEの発症率や重症化とHLA遺伝子型との関連性を調べることを目的としています。関連性が認められ、HLA遺伝子型でirAEが予測できれば、免疫チェックポイント阻害薬を使う判断に役立ち、患者さんの安全性に貢献できるものと考えています。

【研究の対象となる方】

1. 2014年11月から2019年10月に、本学附属病院においてirAEと診断された20歳以上の方
2. 2019年11月以降に、本学附属病院においてirAEと診断された方のうち本研究に同意いただいた20歳以上の方、または免疫チェックポイント阻害薬を投与され本研究に同意いただいた20歳以上の方

【研究の方法】

普段の採血時や点滴ルート確保時にこの研究のために血液約2mlをいただきます。得られた血液からHLA遺伝子型を調べます。加えて、別の目的で保存されている血液検体を使用することや、別の機会に調べられたHLA遺伝子型を利用する場合があります。情報は匿名化を行うことでプライバシーに配慮し適切に取り扱います。得られたHLA遺伝子型とirAEを比較し解析を行います。

【研究組織】

研究代表者

所属	職	氏名
医学部（腫瘍内科学講座）	主任教授	佐治 重衡

研究担当者

所属	職	氏名
医学部（腫瘍内科学講座）	専攻医	名取 穰
医学部（腫瘍内科学講座）	講師	徳田 恵美
医学部（腫瘍内科学講座）	助手	佐々木 栄作
医学部（腫瘍内科学講座）	助教	木村 礼子
医学部（腫瘍内科学講座）	助教	齋藤 里佳
医学部（腫瘍内科学講座）	病院助手	阿左見 祐介

【他の機関等への試料等の提供について】
該当しません。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部腫瘍内科学講座 担当 佐治重衡
電話:024-547-1511 FAX: 024-547-1514
E-mail:ssaji@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方にご了承をいただけない場合には、研究対象者とせずに資料・情報の利用、提供を致しませんので下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことが困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部腫瘍内科学講座 担当 佐治重衡
電話:024-547-1511 FAX: 024-547-1514
E-mail:ssaji@fmu.ac.jp